



「いこいーな」
©シンエイ/西東京市

やさしさとふれあいの西東京に暮らし まちを楽しむ



西東京

主な内容

- パブリックコメント・市民説明会…3
- ご存じですか 情報公開・個人情報保護制度…4
- 胃がん検診2期募集…6
- 日本語スピーチコンテスト発表者募集…7
- 多摩フェスティバル…7

No.313

平成25年(2013)

8/15

市役所代表番号 ☎042-464-1311

発行/西東京市

編集/企画部秘書広報課 〒188-8666 東京都西東京市南町5-6-13

配布/シルバー人材センター ☎042-425-6611

詳しくはWebで [西東京市Web](#)

HPアドレス <http://www.city.nishitokyo.lg.jp/>

携帯電話 <http://www.city.nishitokyo.lg.jp/mobile/>



Let's Participate 2013

総合防災訓練を実施します 高めよう防災意識と地域力

災害時に身の安全を守るためには、市民一人一人が「誰か」ではなく、自らが備える行動を起こし、そして地域との連携を日頃から行うことにより、まち全体で災害に強いまちづくりを進めていくことが大変重要です。

防災訓練に参加して住民同士のつながりを深め、大震災に備えましょう。

◆危機管理室 ☎(042-438-4010)



詳しくは2面をご覧ください

8月25日(日)
午前9時～正午
(小雨決行)

場 向台小学校(向台町2-1-1)
田無第四中学校(向台町2-14-9)
芝久保浄水所(芝久保町5-9-1)
対 市全域(向台町・南町・新町を中心に)

訓練想定

午前9時頃、多摩直下地震が発生し西東京市では震度6強および6弱を計測。市内では老朽化建築物の倒壊、同時多発的な火災など甚大な被害が発生。

市民は自分たちのまちは自分で守るために、近隣の消火、救助、救急活動を実施。

市は災害対策本部を設置し、関係機関などとの連携を図り対応。

訓練の内容

午前9時に市内全域に「緊急地震速報(訓練用の音声)」を防災行政無線で放送します。市民の皆さんは、「まず、身の安全を確保」してください。

その後、午前9時20分頃に防災行政無線から「避難勧告」が放送されますので、市民の皆さんは、家庭内の安全を確認後、訓練会場(向台小学校校庭：一時避難場所)へお集まりください。

訓練を体験

避難活動訓練で向台小学校に避難した後は、皆さんで自分たちのまちを守る術を習得するために訓練を体験しましょう。

パケツリレーなど自治会や地域の方々などの団体単位で参加できる訓練も実施します(体験訓練の内容は2面参照)。

※台風など荒天の場合は、訓練を中止することがあります。中止の場合は、防災行政無線で「本日の西東京市防災訓練は中止です」と放送します。また、市HPでもお知らせします。

地震 その時 10 のポイント

突然大きな地震に襲われたら、皆さんは慌てずに行動できますか。緊急地震速報の普及により、揺れを感じる前に身を守る行動が可能であり、まずは「身の安全を図る」ことが大切です。

いざという時にどのように行動したらいいか。東京消防庁がまとめている「地震 その時10のポイント」を確認してみてください。

8月25日(日)西東京市総合防災訓練開始の合図とともに、会場の訓練に参加できない皆さんも、ご家庭などで10のポイントを実践し、訓練に参加しましょう。

地震時の行動

地震だ! まず身の安全

- 揺れを感じたり、緊急地震速報を受けた時は、身の安全を最優先に行動する。
- 丈夫なテーブルの下や、物が「落ちてこない」「倒れてこない」「移動してこない」空間に身を寄せ、揺れがおさまるまで様子を見る。
- 【高層階(概ね10階以上)での注意点】
- 高層階では、揺れが数分続くことがある。
- 大きくゆっくりとした揺れにより、家具類が転倒・落下する危険に加え、大きく移動する危険がある。



出典：東京消防庁HP より

地震直後の行動

落ちついて火の元確認 初期消火

- 火を使っている時は、揺れがおさまってから、あわてずに火の始末をする。
- 出火した時は、落ちついて消火する。



あわてた行動 けがのもと

- 屋内で転倒・落下した家具類やガラスの破片などに注意する。
- 瓦、窓ガラス、看板などが落ちてくるので外に飛び出さない。



窓や戸を開け 出口を確保

- 揺れがおさまった時に、避難ができるよう出口を確保する。



門や塀には 近寄らない

- 屋外で揺れを感じたら、ブロック塀などには近寄らない。



地震後の行動

火災や津波 確かな避難

- 地域に大規模な火災の危険がせまり、身の危険を感じたら、一時集合場所や避難場所に避難する。
- 沿岸部では、大きな揺れを感じたり、津波警報が出されたら、高台などの安全な場所に素早く避難する。



正しい情報 確かな行動

- ラジオやテレビ、消防署、行政などから正しい情報を得る。



確かめ合おう わが家の安全 隣の安否

- わが家の安全を確認後、近隣の安否を確認する。



協力し合って 救出・救護

- 倒壊家屋や転倒家具などの下敷きになった人を近隣で協力し、救出・救護する。



避難の前に 安全確認電気・ガス

- 避難が必要な時には、ブレーカーを切り、ガスの元栓を締めて避難する。

